

石狩市公立小中学校事務職員第62回（今年度第1回）学校間連携会議議案

2015年5月8日（金）14:00～

於：市公民館 視聴覚室

1 議長挨拶

2 経過報告

3月6日 第61回連携会議

4月10日 臨時連携会議（石狩市公立学校事務説明会）

4月10日 教育長挨拶（会長・事務局長・協議会：事務局長）

3 2015年度役員体制の確認 ～ 別紙1

4 2014年度の反省と2015年度の具体的取り組みについて ～ 別紙2

5 各グループ活動計画について ～ 別紙3

※別紙3の活動原案についてグループ討議のうえ全体確認。

6 「平成28年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について ～ 別紙4

7 実践交流

8 連絡事項

(1) 会議日程等の連絡方法について

①連携会議に関する連絡・資料提出等は原則として電子メールを利用します。

※会議案内や議案は原則として学校アドレス宛てに送信します。

②連携会議のメールアドレスは、\*\*\*\*\*です。提出物などの送信はこのアドレスをお願いします。

(2) ホームページの活用について

①会議案内や会議資料については連携会議ホームページに掲載するので、いつでも確認することができます。ホームページアドレスは<http://irenkei.sub.jp>です。

②ホームページの中の「会員のページ」に入るにはパスワードが必要です。IDはirenkei、パスワードは\*\*\*\*\*です。

③ホームページには掲示板も設置しています。掲示板のパスワードは\*\*\*\*\*です。

(3) 「石狩市公立小中学校の概要」（HP掲載資料）の更新について

来週、データをメールしますので数字が変更になった部分を訂正の上、事務局までメールを送願います。5月22日（金）まで。

<別紙1> '15年度連携会議役員体制

|            |      |      |
|------------|------|------|
| 議長         | 三上正一 | 石狩中  |
| 事務局長       | 坂地和哉 | 樽川中  |
| 事務局次長※     | 常陸敏男 | 花川中  |
| 事務局員（研究）   | 佐藤信明 | 双葉小  |
| 事務局員（調査研修） | 小林和明 | 聚富小中 |
| 事務局員（予算要望） | 寺下和哉 | 花川北中 |

※上記の他石狩市公立小中学校事務職員協議会三役（会長・事務局長・事務局次長）をもって役員会を構成する。

## ＜別紙2＞2014年度の反省と2015年度の具体的取り組みについて

### 1. 2014年度のとりくみ反省について

2015年度のとりくみについては、第60回連携会議において「2014年度活動の反省意見集約について」提案し、各校から意見をいただいた。

### 2. 各校よりだされた意見と事務局見解

#### (1) 各校の意見

|   |   |
|---|---|
| 事務局や各グループの依頼による調査の負担具合はどうか。                 | <input type="checkbox"/> かなり負担であった。<br><input type="checkbox"/> やや負担、あるいは内容によっては負担だった<br><input type="checkbox"/> それほど負担ではなかった（4）   |
| 具体的に、どのような調査が負担でしたか。（できれば理由も）               |   |
| 2014年のとりくみで、成果を感じられた事項は何でしたか。（できれば理由も）      | ・視察研修は、様々な取り組みの紹介や校舎設備の見学が大変ためになりました。   |
| 2014年のとりくみで、あまり成果を感じられなかった事項は何ですか。（できれば理由も） | ・提言の見直しは細かい修正が多く、相手に伝わりやすいという観点が抜けているように感じました。文章を短く、見て解る説明にした方が忙しい相手に伝わるのではないのでしょうか？  |
| 来年度、更に力を入れるべき事項や新しくとりくむべき事項はありますか。（できれば理由も） | ・保護者負担軽減でさらに公費で賄えるものがないか、調査するというのもひとつかなと思います（個人で取り組んでいても、案外みんなが気づいていないこともあると思うので）。以前調査したものさしやダンボールカッターのように。<br>・2014年版「石狩の学校間連携会議」の提言をもとに市教委と具体的な話し合いを進めた方がよい。（作成し配布しただけでは改善・発展につながらない） |
| 来年度、廃止または縮小すべきとりくみはありますか。（できれば理由も）          |   |
| その他、一年間の活動で気づいた点などありましたら、自由に記入してください。       | ・実践交流は日々の業務の中で大変役に立ちました。わからないことばかりだったので助かりました。  |

#### (2) 事務局見解

貴重なご意見ありがとうございました。昨年度につきましては、事務局の力不足からなかなかみなさんのご期待に応えられなかったと思います。申し訳ありません。

昨年度は、各部においても新しい取り組みを行う事ができよかったですのではないかと思います。保護者負担の公費化の取り組みや管外視察交流の取り組み。予算要望のグラフ化など昨年度の取り組みを今年度は成果として結果がでるように取り組んでいきたい。

備品台帳が完成し、昨年度から就学援助のマニュアル作りに取り組み始めました。市教委と連携を取りながら今年度は完成させたいと思います。

新しい提言としまして16を提言させていただきました。新しい提言を模索しながらまた、有効かつ実行へ移すために活動していかなければならないのではないかと考えています。

また、課題となっている協議会と連携会議の関係性についても、分かりやすくまとめられるようにとは考えていますが、協議会の事務局長も替わり課題として押さえています。時間を掛けながら課題解決に取り組みたいと思います。

貴重な意見として参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

### 3. 2015年度の具体的とりくみ

#### (1) 学校財政と学校事務の状況調査

①決算予算調査及び学校徴収金調査については継続して行う。また、可能な限り各学校における提案方法や提案内容についても資料化を検討する。

②学校徴収金調査については、学校財政全体との関係に注目し、公費負担増額と保護者負担軽減につながる調査および保護者負担の公費化とし、予算要望委資料にも反映されるものとするよう検討する。

また、継続して研究部で調査している「学校徴収金のとりまとめ」についても継続して調査を行い問題点の解決に向けた取り組みを行う。今後も学校徴収金や補助金事業を含めて総合的な事務職員の関わり方について調査および交流をおこなう。

③学校事務運営計画における「二本立て運営計画」の状況の交流をはじめとして、ミッション加配の事務職員の現状の交流や学校事務労働の現状を明らかにするとりくみを行う。事務局校におけるミッション加配の申請・報告書をHPで公開し変わりゆくミッション加配の現状の情報発信に努める。

※決算予算調査については、数字の結果だけでなく、提案方法や提案内容に踏み込んで各校の状況を分析します。また、調査した結果を各学校のとりくみに活用できるような資料化を目指します。学校徴収金調査については、校内とりまとめの状況や、申し合わせ事項の有無なども各校の変わりがないかあわせて調査します。

#### (2) 調査活動の分析にもとづく提言

これまでと同様のとりくみ手順で提言に向けた活動をすすめる。昨年**は1つの提言の発表となったが今年度は、いくつかの提言を行えるように取り組んでいきたい。**また、今まで行った提言についても常時点検を行いながら必要に応じ提言内容の更新を行う。※提言内容については、日常実践のうえでの課題に基づくものを中心に、各校の意見を収集しながら決定します。今年度は**就学援助のマニュアルの作成に伴う提言と学校備え付け教材に関する事項において提言を行えるように進めていきたい。**

#### (3) 予算要望について

石教振事務部会の委託により、予算要望資料作成を行う。資料内容の検討は予算要望グループ会議の議論を経て、連携事務局として具体的作業を提起する。今年度は**昨年度の冬季研において交流しました「印刷経費のグラフ化」について今年度についてもデータを収集し予算要望資料へ掲載が可能か可能性を探っていきます。**

※基本的には、全道・石狩事務職員協議会の基本方針である子どもの教育権保障の観点でとりくみます。予算要望回答を分析し、実効ある予算要望書にするための検討を行います。

#### (4) 実践交流について

領域実践交流シートに加え、幅広く領域実践の交流を行う。また、市事協の委託により研究部と一体的に石教研二次集会及び石事協研究会レポート作成にとりくむ。

#### (5) 就学援助の手引きの作成について

調査研修部を中心として今年度は市教委とコンタクトを取りながら就学援助の手引きの完成に取り組んでいきたい。合わせて問題点を検証しながら新たな提言ができるように

#### (6) その他

協議会と連携会議の関係性について整理し方向性を定める。今年度は協議会の事務局長も替わった事から時間を掛けて機構図の変更も含めながら検討していければと思います。

分かりづらいとの声が多かった二つの事務局の違いを基本的に協議会の事務局を研修と親睦を中心に対外の折衝を中心とした事務局運営を進めていく事とし連携会議の事務局は、学校事務業務推進のための共通理解と実践の場としての連携会議を各部の部長や部員と共に運営して行くことを念頭に置いて進めていきます。

<別紙3> 各グループの活動計画について

<別紙4> 「平成28年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について

1. 2014年度の取り組み状況と反省について～第60回連携会議議案を参照してください
2. 2015年度のとりくみについて  
2015年度の基本方針と具体的要望内容については、予算要望グループで原案を作成し次回連携会議で決定する。
3. スケジュール
  - (1) 予算要望グループ会議（原案審議） ○月○日
  - (2) 基本方針と具体的作業の確認 6月11日 第63回連携会議
  - (2) 各学校の資料提出 夏休み明けを目途とする
  - (3) 提出資料の確認 9月25日 第66回連携会議

<別紙3>

2015年度 調査研修グループ活動計画（案）

## 1 活動方針

- (1) 業務の効率・迅速・正確・簡素化を図るため、学校事務の実態調査を行い、改善方法について検討・提案する。
- (2) 研究課題の解決や研鑽を深めるため、視察研修を企画・推進する。

## 2 活動計画

- (1) 学校事務の改善について
  - ① 就学援助事務の手引き作成に向けて検討を図る。
- (2) 視察研修等について
  - ① 他支部交流・出前講座については、アンケート等実施し後日提案とする。  
実施後、報告を行い還元努める。

## 2015年度 研究部活動計画（案）

1. 所属メンバー・・・佐藤（双葉小）、加藤（花川南中）、森（南線小）、小村（八幡小）、品川（花川南小）、富永（厚田小）

2. 今年度の研究課題

子どもの学習権を保障する創造的學校事務の展開

～ 「学校間連携」のとりくみをとおして ～

3. 活動計画

（1）「領域としての學校事務」を、より認知・定着させるとりくみ。

①財政財務活動・教育情報活動について、各会員の日常実践を積極的に交流するとともに、「領域実践交流シート」の更なる充実を図る。

②二本立て運営計画、保護者向け事務便り・児童生徒保護者アンケートについては、引き続き、学習・交流を行う。

③全道事務研究大会を始めとした各種研究会や他支部交流の参加体制の確立に努める。

④市独自の夏季・冬季研修会を開催し、会員の実践推進の場とするとともに、他市町村などと交流を深める。

⑤とりくみ内容などは、協議会、連携事務局と十分に連携を図ることとする。

（2）各種レポート作成などについて

①全道事務研究大会、石教研二次集会、管内研などの発表レポートについては、研究部が主体となって作成し、会員に十分周知する。

（3）その他

## 1 所属メンバー

田中（浜益小），後藤（浜益中），常陸（花川中），浦谷（花川中）  
保里（紅南小），小畠（紅南小），上村（南線小），岡田（樽川中），寺下（花川北中）

## 2 活動方針

- (1) 子どもの学習権保障の観点で学校予算の現状を調査・分析する。
- (2) 予算要望委員会へ提出する資料の編集業務のため、各種企画立案を行う。

## 3 活動計画

### (1) 学校予算の調査・分析について

- ① 学校徴収金や学校財政などについて必要に応じて調査交流をし、各学校における実践改善に努める。
- ② 各会員が更に交流が必要と思われる事項などについては、内容精査のうえ、連携事務局に提案を行う。

### (2) 予算要望について

- ① 予算要望の具体的計画について企画立案し、連携会議で決定する。
- ② 2012年度まで実施してきた「学校財政に関する調査」は、今年度も実施の可否を含めて次回行う予算要望部会で検討する。
- ③ 昨年度各校の印刷費のグラフ化をはかったが、予算要望書には掲載しなかった。今年度についてはグラフ化及び掲載の有無について、どのようにするか部会で検討する。
- ④ 予算要望で取り上げる事項などについても、次回の予算要望部会で検討する。